

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2007-138176 (P2007-138176A)

【公開日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報 2007-021

【出願番号】特願 2006-311598 (P2006-311598)

【国際特許分類】

C 0 8 L 29/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/00 (2006.01)

C 0 8 L 31/04 (2006.01)

C 0 8 L 25/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 29/04 B

C 0 9 J 11/00

C 0 8 L 31/04

C 0 8 L 25/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 30 日 (2007.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 記載の分散粉末であって、ポリビニルアルコールの全量に対して 10 ～ 50 質量 % のより 低 分子のポリビニルアルコール a) が使用されることを特徴とする分散粉末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

低分子のポリビニルアルコール a) は、慣用のより高分子のポリビニルアルコール b) と組み合わせて使用される。しかしながら、その 低 分子成分はあまり多く選択すべきではない。さもなくば、優れた効果が部分的に失われることになるからである。有利には、全量のポリビニルアルコールに対して、10 ～ 50 質量 % のより 低 分子のポリビニルアルコール a) が使用される。特に 15 ～ 35 質量 % の a) が好ましい。